

患者さんへ

集中治療室/高度治療室における急性期播種性血管内凝固症候群 スコア陽性かつ重度血小板減少患者に対する薬剤師主導の 血小板減少原因精査の実態調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

1. 研究の対象

- ① 2022年4月から2025年3月までに当院集中治療室（ICU）または高度治療室（HCU）に入室された患者さんで、急性期播種性血管内凝固症候群（DIC）と判定され、薬剤師が血小板減少の原因を調べる検査を行っていない方
- ② 2025年4月から2026年5月までに当院ICUまたはHCUに入室された患者さんで、急性期DICと判定され、薬剤師が血小板減少の原因を調べる検査を行った方

2. 研究目的・方法

当院ICUまたはHCUに入室した患者さんのうち、急性期DICと判定された患者さんで、薬剤師が血小板減少の原因を調べるための検査をする以前と以降で、患者さんの治療効果にどのような影響があったかを診療録等の情報を用いて調べます。

これにより、集中治療における血小板減少症への薬剤師の適切な対応方法の確立や、薬剤師による医療チームへの貢献が示されることが期待されます。

研究の期間：施設院長許可後（2026年7月） ～ 2027年12月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、ICU/HCU入室理由、血小板数、急性期DICスコア、血液検査結果（LDH、ハプトグロビン、ビタミンB12、葉酸等）、HIT抗体、抗血小板抗体、ICU/HCU在室日数、転帰 等

5. 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

札幌東徳洲会病院 薬剤部・主任 熊坂 雄一郎（研究責任者）

住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号

電話：011-722-1110（代表）

作成年月日：2026 年 6 月 23 日（第 1 版）